

連合長野 [8月]



2017.8.25
No.400

発行/日本労働組合総連合会
長野県連合会
発行人/根橋 美津人

〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349
E-mail info@rengo-nagano.jp http://www.rengo-nagano.jp/

より良い職場、より良い地域社会に向けた
変革の原動力となるために！

「2017連合長野 地域協議会議長・事務局長会議」を開催！ ～各地域協議会の活性化に向けて～

7月21日(金)、松本駅前会館にて、地域協議会における課題や悩みを共有し、今後の地域活動の活性化に向けた議論を深めるため、地域協議会議長・事務局長会議を開催した。会議は、全地協より15名にご参加いただき、基調講演、分散会、松本広域地域協議会幹事会視察の日程で行った。



冒頭、根橋事務局長より開会挨拶として、県内情勢および連合長野運動全体の課題に触れ、連合長野運動の原動力である「地域運動の信頼と共感を基軸とした力量強化」に向けた問題提起を行った。

次に、基調講演として、連合本部組織拡大・組織対策局長の新妻健治氏を迎え「連合・地協活動の現状と今後の課題」をテーマにご講演をいただいた。新妻局長は、この間の地方連合会・地域協議会改革の歩みや議論経過に触れ、連合のめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現には、地域の実態に応じ、どう手を差し伸べていくのかを創造し行動に移していく必要があるとし、「地域に顔のみえる労働運動とは、組合員や地域に暮らす人々の近い位置にあること」「連合地域運動の意義は、組合活動の場づくり・機能強化・やりがい拡大の3つである」とし、①地域の組合員が主体的に関わることのできる場づくり②地域での

わかれ、各地協の抱える課題や取り組みの共有、今後の地協活動活性化に向けた議論を行った。各地協のリーダーからは、「地協幹事の出身産別との連携強化が必要である」「一人ひとりの主体的な参加を高めるためにどうしたら良いか」「地域における政策課題など地域コミュニティへの関与が必要」「役員・組合員から共感を生む地協活動の創造」などの声が寄せられた。

最後に中山会長より「組合員一人ひとりが主体性をもって連合長野・地域協議会の運動へ参画することが必要である。地協活動の活性化に向けて、連合長野としても積極的に支援を行っていく」と述べ、それぞれの持ち場立場において、運動の拡がり活性化に向けた知恵と工夫を出し合い、取り組みを行っていくことを確認した。

会議終了後には、松本広域地域協議会の幹事会を視察し、地協役員の皆さんとの対話を深めた。

県内労働者のクラシソコアゲには、組合員一人ひとりの生活・町づくりに密着している各地域協議会の活性化が重要である。引き続き、議長・事務局長との定期的な対話を通じて、連合長野・地域協議会が一体となった取り組みを展開していく。



様々な団体をつなぐ役割の必要性が提起された。分散会では、議長・事務局長それぞれのグループに

2017連合東海ブロック政策研究集会を開催！

～多様な主体との連携・対話から、社会的課題への改善策を探る～

連合東海ブロック(長野・愛知・岐阜・三重・静岡の各地方連合会)は、7月24日(月)～25日(火)の2日間、岐阜県岐阜市において「2017連合東海ブロック政策研究集会」を開催した。東海ブロック各県より、政策担当者、役員、推薦議員など全体約130名、連合長野からも三役、政策委員、地協役員、推薦県議会議員・市町村議員の総勢31名が参加し、「ディーセントワークの実現に向けた働き方の見直し」をテーマに意見交換を行い、議論を深めた。



始めに、連合東海ブロックを代表して連合愛知土肥会長からの、「今こそ連合の社会的役割が求められている。地域における様々な社会的課題に対し、働く者の立場でしっかりと意見反映していくことが重要である」との挨拶に続き、徳住 堅治弁護士から、「ディーセントワーク実現と働き方の見直し」について基調講演をいただいた。ブラック企業の実態、若い世代の過労自殺の事案から長時間労働の是正や働き方の見直しの重要性に触れ、「より一層、若年層への労働教育が求められている」「中小と大手企業における適正価格による取引慣行についても見直しが必要」「法律に魂を入れるのが労働組合の役割である」「働き方の見直しは、労働組合が率先して取り組むことが重要」など、アドバイスをいただいた。

団体・労働組合を代表する5人がパネリストとなり、「ディーセントワークの実現に向け政労使が果たす役割」について、女性活躍促進、産業構造や消費行動の視点での働き方の見直しに関する議論を深めた。

2日目は5分散会に分かれ、初日で提起された課題について、労働組合・県市町村議員それぞれの立場から、各自治体の現状、構成組織における事例報告、労働組合としての役割等について議論した。時間外労働の削減や年休取得促進、職場におけるメンタル不全対策などの他、消費者としての消費行動・生活の見直しに加え、労働組合の社会的責任を果たすため、運動を強化する観点より、組織強化と組織拡大の重要性、労働組合・推薦議員・市民団体などとの連携について幅広い考えが出され、それぞれの持ち場・立場での取り組みを進めていくことが確認された。

連合長野は、今後9月～10月にかけて、政策委員会による県政要請への要求と提言の取りまとめ、部局折衝や県政への要請行動を予定している。今回の集会内容も踏まえつつ、県内のすべての働く者のクラシソコアゲに向け、労働者・生活者の視点より、様々な政策議論への意見反映を行っていく。



パネルディスカッションでは、徳住氏をコーディネーターに、行政・地元大学・企業・NPO 団体・経営者

あなたの住まい、大丈夫ですか？

木造住宅 住宅診断実施中

長野県住宅生協×専門機関のパートナーシップで「安心・安全のための住宅診断」を実施しています！
まずはお気軽にご相談ください。

住まいは、不調であっても、声を出して訴えてはきません。
『住宅診断』は住まいの声をきくことです。
あなたのお住まいの声をきいてみませんか？

 **長野県労働者住宅生活協同組合**

本部

長野県知事(10)2490号

026-234-0283
〒380-0838 長野市県町523 ろうきんビル7F jyusei@avis.ne.jp

松本事務所
〒390-0841 松本市清1丁目2-1
TEL.0263-88-5061

ホームページもご覧ください

<http://www.jyusei.jp/>

カザフスタン・トルコ・ウクライナの労働組合指導者が長野県に来日! 連合長野役員と労働運動について意見交換を行う!

8月1日(火)～8月2日(水)、連合の外郭団体である国際労働財団(JILAF)の海外視察受け入れプログラムの一環として、カザフスタン・トルコ・ウクライナの労働組合代表9人が長野県に訪れ、労働行政機関の見学や民間工場の視察を通じて、日本の労働行政や労使関係などを学んだ。

連合長野との意見交換では、運動方針や年間の取り組みなどの説明の後、海外指導者より、女性参画や次代のリーダーの育成、労働相談体制や非正規労働者への対応、組織拡大の取り組みなどについて、お互いの悩みや課題を意見交換した。

国際労働財団を通じて、連合長野が海外からの労働組合指導者の視察を受け入れたのは、実に6年ぶりとなる。



長電労組意見交換
左:萩原長電労組委員長

国や文化が違って、労働運動の本質や、労働運動・組合活動に対する熱意・信念は、世界共通である。今回の意見交換の成果を連合長野運動への強化に結びつけていく。



県知事表敬訪問
県知事・産業労働部長と一緒に

視察プログラム《全日程》

7月23日～8月5日

(連合本部、厚生労働省、日本生産性本部、広島平和記念公園、UAゼンセン、全労済協会など)

7月31日 長野県労福協

8月1日 県知事表敬訪問、ハローワーク長野、ポリテクセンター長野(職業訓練校)

長野県労働金庫、連合長野

8月2日 長電テクニカルサービス(株)整備工場
長野電鉄労働組合



ハローワーク長野
意見交換・求人PCデモ操作



長電テクニカルサービス(株)、電車整備工場見学



長野労金訪問
労金理事長・連合長野役員と一緒に



ポリテクセンター長野
授業視察・意見交換

全労済では自賠責共済を取り扱っています!

自動車損害賠償責任共済



ご加入希望の方は
ご相談ください

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたりした場合の対人賠償事故を補償します。

自賠責共済とは?

自動車損害賠償保障法によって道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)、原付自転車に加入が義務づけられている共済(保険)です。

死亡	最高 3000万円
けが	最高 120万円
後遺障がい	程度に応じて 4000万円～75万円



もし自賠責共済(保険)に加入していないと?

未加入で運行した場合、法律により罰せられます。

6カ月の範囲内の免許停止(違反点数6点)

1年以下の懲役または50万円以下の罰金



原付・バイクをお持ちの方は特に注意!

車検制度のない原付・250cc以下のバイクは自賠責共済(保険)の有効期限切れに特に注意が必要です。今一度、有効期限のご確認を!



マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

「第11回親子ものづくり教室」に19組、43人の親子が参加 すごく難しい!?!…ロボット工作「アボイダーⅢ」を組み立てる — 金属部門連絡会(電機連合・JAM甲信・自動車総連・全電線) —

金属部門連絡会(小池政和部会長:連合長野副会長:電機連合)は、7月29日(土)、松本市内の(株)IHシバウラの食堂にて「第11回親子ものづくり教室」開催した。金属部門14組合から、19組の親子、43人が参加し、はんだ付けを伴う電子基板と光センサーを組み合わせた、ロボットおもちゃの組み立てにチャレンジした。



それぞれ完成品をもって閉講式

基本は「安全」の心得から… プリント基板のはんだ付けに取り組み

親子ものづくり教室は、子どもたちに働く家族の職場を見せ、親子で一緒に取り組むことを通じて、ものができあがる喜びを感じ「家族の労働」への理解を深める、という趣旨ではじまり、金属部門連絡会の全国的な取り組みになっている。

まず初めに、部門メンバーから作り方と作業の安全確保(防護メガネ・マスク・手袋)について説明。子ども達は、工程が進むにつれて細かいはんだ付けにも慣れ、長時間の作業にも集中力をきらさず、一心に取り組んだ。

親子ものづくり教室は、子どもたちに働く家族の職場を見せ、親子で一緒に取り組むことを通じて、ものができあがる喜びを感じ「家族の労働」への理解を深める、という趣旨ではじまり、金属部門連絡会の全国的な取り組みになっている。



基盤への配線作業



注意!初めて触るハンダごて

XX

反省!
すこし
難しすぎた
こと?

朝10時から始めた教室だったが、午後3時半頃、ようやく参加者の大半が作業を終えることができた。完成していない親子は、引き続き、約1時間の補習を行って、子どもたち全員が完成した「アボイダーⅢ(障害物回避ロボット)」を抱えて帰ることができた。終了後、子ども達からは、「すごく大変だったけど、動いた時はすごくうれ

しかった」などの感想が寄せられ、モノを作ることの喜びに加えて、安全第一や整理整頓などを学ぶことができた。

連合長野は、引き続き、金属部門連絡会を中心として、長野県の基幹産業であるもの作りの大切さを次世代へ伝える取り組みを行っていく。

応援してユニ!

ゆるキャラグランプリ 2017

連合

ユニオニオン

18回 初立候補!

スマホ・携帯・パソコンから

毎日投票 お願いします!

投票はこちらから

投票期間 8/1(火) 10:00 ~ 11/10(金) 18:00

ゆるキャラグランプリ ユニオニオン 検索

初回のみID登録が必要です

将来のこと、自分のこと、しっかり考える“わたし”になりたい!

— わたしの積立 —

【シュシュ】

chou*chou

ここから始まる新しい“わたし”
chou*chou futur
【シュシュ フトコール】

こども積立
chou*chou
【シュシュ】

今もこれからも輝く女性に
chou*chou plus
【シュシュ プリウス】

長野県労働金庫
www.nagano-rokin.co.jp